

片目のごあいさつ

小川未明

青空文庫

新^{しん}ちゃんこしは腰なに長いものさしをさし、片^{かたほう}方の目めをつぶつて、片^{かたほう}方の手てをうしろにかくしながら、頭あたまをちよつとかしげて、みんながはなしお話をしているところへ、いばつて出^でてきました。

「いいか、よらばきるぞ？」と、いいました。

「なあに？ 新^{しん}ちゃん、それは、なんのまねなの？」と、お母^{かあ}さんがおつしやいました。

「ねえ、お母^{かあ}さん、タンゲサゼンのまねをしているのですよ。」と、兄^{にい}さんの徳^{とく}ちやんが、いいました。

「どこでそんなもの見^みてきた？」と、お父^{とう}さんがおわらいになりました。

新ちゃんしんはそんなことには答こたえないで、さつとものさしをひきぬいてふりまわしていました。

「また、一人ひとりきったぞ。」といって、とくいでいました。

「まあ、ほんとに困こまってしまいますこと。」と、お母かあさんはおつしやいました。

「お母かあさん、チンドン屋やがこんなまねをしてくるのですよ。」

そういつて兄にいさんは、「おれはそんなばかなことはしないぞ。」といわぬばかりに、弟おとうとのすることを見みていました。

「ああ、そうか。新吉しんきちもチンドン屋やのお弟子でしになるといい。」と、お父とうさんがおつしやいました。

「チンドン屋やなものか、小田おだくんからならったんだい。」と、新しん

ちゃんはいいました。

「小田^{おだ}くんって、新ち^{しん}ちゃんの組^{くみ}なの？」

「そうさ、小田^{おだ}くんは、それはうまいから。」と、新ち^{しん}ちゃんはなにを思い^{おも}だしたのか、感心^{かんしん}をしています。

「その子^こは勉^{べん}強^{きやう}がよくできるの？」

「そうよくできないよ。」

「じゃ、チャンバラがうまくたって、しかたがないじゃないか。」と、兄^{にい}さんはいいました。

「それでも、その子^こはおもしろいよ。ぼく、大^{だい}好きさ。」

「新ち^{しん}ちゃんは、そんな子^ことばかりあそんでいるのでしょうか。」と、お母^{かあ}さんがおっしゃいました。

「話はきくとおもしろい子だね。きつと、その子も、きかんぼう

だろう。」と、お父さんがいわれました。

「お父さんは、小田くん見た？」

「お父さんは見なくたって知っているさ。」

「ほんとにかわいい、おもしろい、いい子なんだよ。」

そういつて、新ちゃんは、自分のすきなお友だちがほめられた

ので、大よろこびです。

「自分が小さいくせに、かわいらしいなんて。」と、兄さんがわ

らいました。

「こんど、小田くんのうち、田舎へいくかもしれないよ。」

「どうして？」

「こないだ、小田^{おだ}くん、そんなことをいつていた。そうしたら、
ぼく、さみしくて困^{こま}るなあ。」

「きつと、じようだんでしよう。」と、お母^{かあ}さんはおつしやい
ました。

そのあくる日^ひでした。うけもちの西山^{にしやませんせい}先生は、小田^{おだ}くんを
教壇^{きようだん}によんで、

「こんど、小田^{おだ}くんのおうちは、とおいところへおひっこしにな
るので、みなさんとおわかれですから、ごあいさつをなさい。」
と、おつしやいました。

みんなが立^たちました。そして級長^{きゆうちよう}の号令^{ごうれい}で、礼^{れい}をしまし
た。そのとき、ひようきんな小田^{おだ}くんは、いつものタンゲサゼン

のまねをして、片目かためをつぶつて頭あたまをさげたので、これを見たものが、くすくすとわらいだしました。

「なにがおかしいのですか？」と、先生せんせいが、みんなにむかつていわれました。

「先生せんせい、小田おだくんがわらわせたのです。」

西山先生にしやませんせいも、かねてから小田おだくんのことを知しっておられたから、

「なにをしたんだ？」と、わらいながら、小田おだくんにおつしやいました。

さすがに、小田おだくんは頭あたまに手てをあげて、顔かおを赤あかくしていました。「先生せんせい、片目かためをつぶつてタンゲサゼンのまねをしたのです。」

だれかがいったので、みんなが吹きだすと、先生もいつしよになつておわらいになりました。

その日、新ちゃんはおうちへかえると、一人ぼんやり考えていました。

「もう、あす、学校へいっても小田くんはこないな。」といつて、目の中にいつぱいなみだをためていました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷

1983（昭和58）年1月19日第6刷

※表題は底本では、「片目《かため》のごあいさつ」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2015年5月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

片目のごあいさつ

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>